

授業科目名	生活支援学演習 I	科目番号	02EU250
単位数	3単位	担当教員	水野 智美
授業時間	通年 応談	研究室	総合D727
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	mizunotomomi@nifty.com
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	火曜日の午後

授業の到達目標 障害児・者、子ども、保育者の生活上の支援に関する論文を講読し、生活支援学の研究方法の基礎を学ぶ。

授業の概要 生活支援学に関する研究論文を購読し、文献的考察を行う。また保育現場で障害児保育臨床を体験し、それをレポートするとともに、各自に与えられた課題を調べ、発表する。後半は、障害児・者や子ども、保育者や家族に対する支援に関する研究の課題設定、研究方法の検討、論文作成の演習を行う。

テキスト 特になし

参考図書 徳田克己監修 水野智美編著『具体的な対応がわかる気になる子の保育』
チャイルド本社
徳田克己監修 水野智美編著『具体的な対応がわかる 気になる子の保護者への対応』

成績評価の方法 出席状況および発表、討論への参加

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	水野智美	オリエンテーション・授業の進め方
第2回以降	水野智美	受講者による発表と討論を行う。 保育現場にて、障害児保育臨床の実習を行うことがある。

授業科目名	生活支援学演習Ⅱ	科目番号	02EU251
単位数	3単位	担当教員	徳田克己・()
授業時間	通年 応談	研究室	D-718
科目の種類	演習、フィールドワーク	電話	ktokuda@yahoo.co.jp
標準履修年次	1～3	オフィスアワー	火曜日午前10時～午後2時

授業の到達目標 受講者が子ども支援学及びバリアフリー論に関する高度の専門的知識を持ち、それをもとに現代社会の問題点を的確に指摘し、具体的な改善策を提示できる「専門性」を形成することを目標にする。

授業の概要 受講者各自が、子ども支援学あるいはバリアフリー論に関する論文(英文)のうち、自分の興味で選んだ研究論文の概要をまとめて発表する。その発表において、さらなる課題が教員や他の受講者から提示され、次週にさらに詳細に発表する。課題によっては学内外におけるフィールドワークを行うこともある。

テキスト なし

参考図書 徳田克己・水野智美著『点字ブロック』 福村出版

成績評価の方法 授業への取り組み方によって評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
すべての回	徳田克己	受講者の発表、教員・他の受講者からの質疑応答、次の課題の明確化。場合によっては、授業を集中の形にしてフィールドワークを行う。

授業科目名	福祉社会学演習	科目番号	02EU253
単位数	3単位	担当教員	徳田克己・水野智美・ ()・()
授業時間	通年 応談	研究室	総合D727
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	mizunotomomi@nifty.com
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	火曜日の午後

授業の到達目標 障害者・高齢者のバリアフリー問題、海外の路上生活をしている子どもに関する問題、海外の物乞い障害者の問題などについて専門的な知識を身につける。

授業の概要 障害者・高齢者のバリアフリー問題として、視覚障害者のための点字ブロック、車いすドライバーのための障害者用駐車スペース、高齢者のための歩行車、肢体不自由者・高齢者のための電動車いすを取り上げ、バリアフリーの実地調査を行うとともに、文献による理解を深める。また海外の貧困問題や障害者の物乞い問題に関しての海外文献の購読を行う。

テキスト 特になし

参考図書 徳田克己・水野智美『点字ブロック』福村出版
国際交通安全学会発行のバリアフリー報告書などを紹介する

成績評価の方法 各調査への参加とレポートの提出

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	水野智美	オリエンテーション・授業の進め方
第2回以降	水野智美他	文献購読およびバリアフリーの実地調査を行う。実地調査の場において、フィールドワークの方法を指導する。

授業科目名	生活支援学特別研究 I	科目番号	02EU274
単位数	3単位	担当教員	水野 智美
授業時間	通年 応談	研究室	総合D727
科目の種類	演習	電話 又は メールアドレス	mizunotomomi@nifty.com
標準履修年次	2-3年	オフィスアワー	火曜日の午後

授業の到達目標 生活支援学分野の博士論文作成のために、課題設定、方法論の検討、記述の仕方を学ぶ。

授業の概要 1週に1回、博士論文の指導を行う。課題設定、データ処理の仕方、記述の仕方、考察の観点などを指導し、また博士論文の下書きに対して詳細な指導を行う。

テキスト 特になし

参考図書 個々に指示をする

成績評価の方法 個人指導への参加

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	水野智美	オリエンテーション・授業の進め方
第2回以降	水野智美	博士論文作成のための指導を行う

授業科目名	生活支援学特別研究Ⅱ	科目番号	02EU275
単位数	3単位	担当教員	徳田克己
授業時間	通年 応談	研究室	D-718
科目の種類	演習	電話	ktokuda@yahoo.co.jp
標準履修年次	2・3	オフィスアワー	火曜日午前10時～午後2時

授業の到達目標 生活支援学のテーマに合った博士論文を完成させる力を養成する。

授業の概要 博士論文の指導を行う。具体的にはデータ収集の仕方、データ分析の仕方、記述の方法、考察の観点などを指導する。また博士論文の下書きに対して添削指導を行う。

テキスト なし

参考図書 過去に提出された、多くの博士論文

成績評価の方法 授業への取り組み方によって評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
すべての回	徳田克己	博士論文作成に関する指導

授業科目名	生活者バリアフリー特論	科目番号	02EU279
単位数	3単位	担当教員	徳田克己 水野智美
授業時間	通年 応談	研究室	D-718
科目の種類	講義、フィールドワーク	電話	ktokuda@yahoo.co.jp
標準履修年次	1～3	オフィスアワー	火曜日午前10時～午後2時

授業の到達目標 受講者がバリアフリー論に関する高度の専門的知識を持ち、それをもとに現代社会の問題点を的確に指摘し、具体的な改善策を提示できる「専門性」を形成することを目標にする。加えて、実地においてバリアの発見、その解消方法を提案する力を養成する。

授業の概要 バリアフリーの基本的な考え方を講義した後、実地においてフィールドワークを行い、バリアの発見、その評価、その改善方法を学ぶ。

テキスト 徳田克己・水野智美著『点字ブロック』 福村出版

参考図書 なし

成績評価の方法 授業への取り組み方によって評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
すべての回	徳田克己	バリアフリーに関する講義とディスカッション
	水野智美	実地におけるフィールドワーク